

令和元年度事業報告

(公財)こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念に基づき、市、事業者及び市民それぞれが有する人材、資力などを総合的に活用することにより市民福祉を振興するための事業を創造・推進し、市民の福祉の向上に寄与することを目的としている。

令和元年度は、開村30周年を迎えたしあわせの村において記念式典を開催するとともに、記念事業を実施した。

また、2025年における当協会のあるべき姿及び取り組むべき重点施策を示した「2025ビジョン」(平成30年6月策定)の実現に向け各種の事業に取り組んだほか、神戸市において新たに立ち上げられた「しあわせの村リニューアル検討有識者会議」の議論に参画するとともに、神戸市の所管部局に協力を得て既存事業の評価・検証を行い、事業の見直しに向けた検討を行った。

なお、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、しあわせの村においても一部施設の休業やイベントの中止などの影響を受けることとなった。

令和元年度事業報告

※事業実績の()内は、平成30年度実績

【公益目的事業】

I 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長[公1] 87百万円

「こうべ市民の福祉をまもる条例」の理念を実現し、人口減少や少子高齢化の進行やコミュニティの衰退に伴う福祉課題の複合化・複雑化などに対応するため、福祉資源としての市民の有する力のさらなる活用を図り、市民に対する福祉意識の啓発や、市民の福祉活動を振興する事業を実施した。

1 市民の福祉意識の啓発を図る事業

(1) 情報誌の発行

市民福祉への理解を深めることを目的に、全市的な福祉・健康に関する情報や、当協会及び「しあわせの村」を運営する共同事業体が展開する事業を広く紹介する情報誌「市民ふくし」を発行した。

[発行回数] 年6回 (年6回) [発行部数] 各30,000部 (各30,000部)

(2) ふれあい体験学習

市民の思いやりの心を育み、福祉についてさまざまな角度から学ぶための機会づくりを目的に、学校・地域団体等を対象に、車いす・アイマスク・白杖等を用いた体験実習及び村内福祉施設での実習等を行った。

また、障がい者当事者から体験談等を直接聞いて学ぶプログラムを試行的に実施した。

[参加者数] 体験学習 2,639人 (3,568人)、
当事者から学ぶプログラム(新規) 2校3回 205人

(3) ユニバーサルデザイン(UD)の普及啓発

ユニバーサル社会の実現を目指し、神戸市のユニバーサルデザイン(UD)のあり方を実践・発信する拠点としてUDの推進に取り組み、その成果を広く全市に発信していくため、講義やワークショップを通して学ぶ「こうべUD大学」や「夏休み親子UD体験教室」を実施した。

また、普及啓発活動とともに取り組む市民組織「こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)」を支援するとともに、市民ボランティア「こうべUD活動サポーター」とともに、市内小・中学校や地域において出前授業や学習会を行ったほか、地域等におけるUDの視点に立った取り組みを取材し、Web上に「事例紹介」として掲載した。

- ① こうべUD大学 [実施回数] 全9回(新型ｺｺの影響で1回中止)(全10回)
[受講者数] 68人(75人)
- ② 夏休み親子UD体験教室 [実施日] 2回(2回) [参加者数] 30組46人(93組211人)
- ③ こうべユニバーサルデザインフェア 新型ｺｺの影響で中止(3/15実施・来場者数8,500人)
- ④ UD出前授業 [訪問学校数] 34校(37校) [参加者数] 2,234人(2,832人)
- ⑤ UDスポット見学ツアーinしあわせの村
[実施回数] 46回(38回) [参加者数] 2,639人(1,300人)
- ⑥ こうべUD活動サポーター [登録者数] 22人(18人)
[活動者数] 延251人(延146人)

2 市民の福祉活動の振興

(1) 市民福祉事業・福祉活動助成

市民活動の活性化による福祉都市神戸の創造を目的に、神戸市民の福祉の発展・向上に資する先駆的な事業・活動の実施(地域の高齢者向け交流・健康増進・介護予防講座の開催、認知症VR体験会の開催等)に対する助成を行った。

[助成件数] 12件(8件) [助成金額] 1,364千円(1,162千円)

(2) 手話・点訳ボランティア養成と活動支援

ソーシャルインクルージョンの実現を図るため、聴覚・視覚障がいについて市民の理解を深めるとともに、コミュニケーションの大切さを多くの市民が理解できるよう、手話及び点字の講座を行った。

手話については、春期に基礎課程、秋期に入門課程の2期に分けて実施するとともに、より多くの市民の手話に対する理解を促進することを目的に、気軽に手話とふれあうことのできる短期手話講習会を実施したほか、講座修了者を中心に組織されたボランティアグループに対する運営の支援や活動機会の提供を行った。

さらに、協会及び共同事業体事業者職員、しあわせの村で活動するボランティアを対象に、聴覚障がいの基礎知識や読話、筆談、要約筆記等のコミュニケーション方法について学ぶ「聞こえの啓発講座」を試行的に実施した。

- ① 手話講座(入門課程) [実施回数] 全20回 (全20回)
[受講者数(修了者数)] 23人(21人) (27人(23人))
(基礎課程)(新規) [実施回数] 全19回(新型コロナの影響で1回中止)
[受講者数(修了者数)] 22人 (22人)
- ② 点字講座 [実施回数] 全33回(新型コロナの影響で2回中止) (全35回)
[受講者数(修了者数)] 8人(6人) (11人(9人))
- ③ 短期手話講習会 [実施回数] 2期(新型コロナの影響で1期中止・各期4回) (3期・各期4回)
[受講者数] 20人 (36人)
- ④ 聞こえの啓発講座(新規) [実施回数] 2回 [参加者数] 延48人

(3) 市民向け福祉啓発講座

広く福祉にふれる機会を提供することにより、市民の福祉意識の向上に資することを目的とした教室や講座を行った。

また、令和元年度は、しあわせの村開村30周年記念事業として「聞いて、見て、体験！認知症」を開催し、認知症をテーマにした講演会のほか、企業・大学等の出展や、VR(仮想現実)装置を用いた認知症体験プログラムなどにより、認知症に対する理解と支援、予防について考える機会を提供した。

- ① 夏休みこども向け教室
 - ア. 手話教室 [実施回数] 2回 (2回) [受講者数] 17人 (20人)
 - イ. 点字教室 [実施回数] 2回 (2回) [受講者数] 35人 (38人)
- ② 認知症介護予防教室 [実施回数] 2回 [受講者数] 100人 (151人)
- ③ 「聞いて、見て、体験！認知症」(新規)
[実施日] 12月22日
[参加者数] 講演250人、VR体験113人、村内施設からの報告116人

3 高齢者や障がい者の社会参加の支援

(1) 「こうべ長寿祭」の開催等

長寿社会を明るく活力に満ちたものにするため、高齢者のスポーツと文化の振興を図り、高齢者の心身の健康の保持・増進に寄与することにより、長寿社会における健康と福祉に関する市民の理解を深めることを目的に「こうべ長寿祭」を実施するとともに、神戸市代表選手団を「全国健康福祉祭和歌山大会」へ派遣した。

- ① 第32回こうべ長寿祭
[開催期間] 4月24日～10月26日 [参加者数] 計2,752人 (計2,985人)、
美術作品211点 (181点)
- ② 第32回全国健康福祉祭和歌山大会
[開催期間] 11月9日～12日 [神戸市代表] 選手123人 (123人)、
美術作品10点 (10点)

(2) こころのアート展

障がい者の芸術作品の魅力を広く社会に発信し、活動の場を拓くため、芸術活動に取り組む障がい者を兵庫県内から公募し、作品展や、その自由な表現を体験するワークショップ

プをしあわせの村において開催した。

また、作品をより多くの方に楽しんでいただくことができるよう、新長田勤労市民センターや東灘区民センターのほか、デュオこうべ、ギャラリーフレンテ(西宮市)、あさご芸術の森美術館(朝来市)において巡回展を開催した。

① 作品展(しあわせの村)

[展示期間] 10月31日～12月1日 [展示作者数] 10人 (10人)

[来場者数] 8,400人 (7,200人)

② ワークショップ [実施日] 11月17日 [参加者数] 65人 (120人)

(3) 発達の気になる児童に対する支援事業

小学校行事への適応に不安のある発達の気になる児童に対し、事前に体験しておくことでその不安を解消する機会を提供する「体験ひろば」を開催したほか、参加児童の保護者に対し、グループワークや学びの機会を提供する支援講座を行った。

① 体験ひろば [実施回数] 全8回×2クラス (全10回×2クラス)

[参加者数] 36人 (36人)

② 保護者向け支援講座 [実施回数] 3回 (4回) [参加者数] 延90人 (延148人)

③ 発達の気になる子と保護者のつどい 新型コロナの影響で中止 (1回・参加者数 48人)

4 市民福祉事業の調査研究及び開発

令和元年度は、村内の医療・福祉施設の運営法人だけでなく、しあわせの村運営共同事業体構成員及びその他営業施設も加えた「しあわせの村医療・福祉施設部会」を新たに立ち上げ、障がい者の就労や活躍に関する講演会、医療・福祉現場における災害対策研修等を実施するなど、共通の福祉課題の解決に向けた事業や意見交換を協働で行った。

また、これまで相互に協力し事業連携などを行ってきた神戸学院大学との間で、新たな福祉課題の解決やソーシャルインクルージョンの実現に向けて組織的な連携を行っていくため、包括連携協定を締結した。

[医療・福祉施設部会実施回数] 10回

[医療・福祉施設部会参画施設]

(村内医療・福祉施設)

神港園しあわせの家、グリーンホーム平成、ワークホーム緑友、えみのき、
ワークホーム明友、神戸明生園、にこにこハウス医療福祉センター、
アネックス湊川ホスピタル、(一財)神戸在宅医療・介護推進財団

(しあわせの村運営共同事業体構成員)

(株)グリーンホスピタリティーマネジメント、(株)ウェルネスサプライ、
美津濃(株)、(公社)神戸乗馬倶楽部

(その他営業施設)

すずらんゴルフ場、冒険アドベンチャーパーク

[神戸学院大学との包括連携協定]

(締結日) 令和2年3月18日

(連携事項) ①地域社会でのソーシャルインクルージョンの実現に向けた取り組み

- ②市民の健康・福祉の向上に必要な人材の育成
- ③両者が行う事業への相互支援
- ④その他両者が必要と認める事項

II 総合福祉ゾーン「しあわせの村」をはじめとする市民福祉施設の管理運営

[公2] 475百万円

市民の心身の健康や福祉の増進を図るため建設された市民福祉施設における設立理念の実現を目指した管理運営を通して、市民福祉の向上を図る事業を実施した。

A 総合福祉ゾーン「しあわせの村」運営事業

ノーマライゼーションの交流拠点である「しあわせの村」において、豊富な資源やこれまで培った活動実績、ネットワーク等を活用しつつ、さらなるイノベーションを起こし、複雑化する福祉課題解決のためのさまざまな試みを行うことで、村の内外からの人材の交流や多様な市民の参画を進め、「ソーシャル・インクルージョン（誰もが居場所と役割を持ち市民として包摂され、誰もが取り残されない社会）」の実現を目指して、専門的能力を有する事業者と共同事業体を構成し、指定管理者として運営を行った。

協会は、共同事業体代表法人として運営全体の総合調整を行うとともに、利用者の安全・安心の確保や施設の維持管理を行ったほか、市民福祉の理念実現のため、福祉事業や市民交流事業の企画・実施等に取り組んだ。

また、各施設の管理運営においては、共同事業体の各構成団体が互いに連携をとりながら専門的能力を発揮することにより、全体としての利用者サービスの向上や効率的な運営に取り組む、市民福祉の拠点施設である「しあわせの村」の事業運営の充実を図った。

令和元年度は開村30周年を迎えたことから、記念式典を開催したほか、市民に一層親しんでいただけるよう、神戸市や共同事業体、各種関係団体と連携しながら、さまざまなイベントやサービスを実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、令和2年3月期には、屋内運動施設や会議室の供用を休止するとともに、イベント・教室の開催を中止することとなり、運営に影響を受けることとなった。

【令和元年度 しあわせの村利用状況】

	利用者数	(H30年度)	対前年度比
入村者数	1,861,800人	1,842,300人	1.1%
施設利用者数	1,063,518人	1,054,898人	0.8%
宿泊施設	64,671人	71,430人	△9.5%
温泉	203,488人	206,695人	△1.6%
屋内運動施設	282,198人	279,128人	1.1%
屋外運動施設	419,194人	403,501人	3.9%
研修館等	93,967人	94,136人	△0.2%
イベント等	140,869人	141,930人	△0.7%

【新型コロナウイルス感染症感染拡大にともなう施設休止状況】

①供用を休止した施設及び休止期間

プール・トレーニングジム・体育館	3月3日～31日
貸会議室(各宿泊施設、研修館)	3月3日～31日
神戸市シルバークレッジ	3月2日～19日(卒業式も中止)

- ②中止・延期となった主なイベント等
 マンスリーミニコンサート(3月1日)
 ボランティア交流会(3月4日)
 発達に気になる子と保護者のつどい(3月8日)
 障がい者水泳ボランティア研修会(3月10日)
 こうべロハスひろば(3月14・15日)
 こうべユニバーサルデザインフェア(3月15日)
 桜のライトアップ(3月27日～4月12日)
 短期手話講習会、手話講座、点字講座

【しあわせの村運営共同事業体】

事業者名	担当業務
(公財)こうべ市民福祉振興協会	村全体の総合調整、市民福祉事業の実施 他
(株)グリーンホスピタリティマネジメント	宿泊・野外活動施設の管理運営
(株)ウエルネスサプライ	温泉健康センター(温泉、体育館等)の管理運営
美津濃(株)	屋外運動施設(テニスコート等)の管理運営
(公社)神戸乗馬倶楽部	馬事公苑の管理運営
(一財)神戸すまいまちづくり公社	各施設の設備等の維持管理

1 障がい者の自立や社会参加を促進するための事業

(1) 障がい者就労支援協働事業

障がい者就労の促進と市民への啓発を目的とした事業を障がい者団体や障がい者施設との協働により実施した。

① 農福連携事業

村内で栽培している農作物の生産・加工・流通と障がい者の就労を組み合わせた事業の取り組みとして、「玉ねぎスープ」の製品化・販売を行った。

② 「神戸幸品」の販売

村で生産された産品であるはちみつ、原木しいたけ、きんとき(さつまいも)を、神戸芸術工科大学の協力を得て商品化したしあわせの村のオリジナルブランド「神戸幸品(こうべこうひん)」として販売した。

③ 缶バッチ・缶マグネットの製作販売

村内障がい者施設(4施設)による「缶バッチ☆マグネット製作隊」の受注・販売活動の支援を行った。

[缶バッチ☆マグネット製作隊参画施設]

グリーンホーム平成、ワークホーム緑友、ワークホーム明友、神戸明生園

[受注実績] 12,799個 (10,651個)

(2) 障がい者就労コンビニ

障がい者就労の場の拡充と来村者の利便性向上を目指し、本館・宿泊館1階に設置している障がい者と健常者がともに働く障がい者就労コンビニについて、引き続き共同事業体と連携しながら運営を行った。

[利用者数] 174,576人 (116,054人・6/30～3/31)

(3) 障がい者施設手作り品等展示・販売コーナー

障がい者就労コンビニ及び温泉健康センター内の「はっぴねすコーナー」において、障がい者施設の製品の展示・販売を行ったほか、本館・宿泊館1階売店跡地に開設した「はっぴねすひろば」において、障がい者施設での手作り品や絵画の展示や施設の活動紹介のほか、神戸幸品や缶バッチ☆マグネット製作隊の活動の紹介を行った。

(4) 手のひらギャラリー

障がい者を中心としたさまざまな市民が自らを表現した芸術作品を発表できる機会を提供するため、温泉健康センターロビーに展示スペースを新たに設置した。

[利用件数] 8件

①当協会・村内福祉施設他 「オープニング作品展」(4月21日～6月3日)

②兵庫県障害者芸術・文化祭実行委員会 「ひょうご障害者アート展」

(6月15日～7月15日)

③当協会 「しあわせな瞬間写真コンテスト」(7月22日～9月1日)

④障害者スポーツネットひょうご 「障害者スポーツ絵画展」(9月4日～25日)

⑤(社福)神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター 「パラスポーツ写真展」

(10月1日～24日)

⑥当協会 「第9回こころのアート展」(10月31日～12月1日)

⑦NPO法人ゆとり ゆとり作業所 「ゆとりのちぎり絵展」(1月18日～2月14日)

⑧(社福)くすのき会 ひふみ園 「ひふみ書道展」(3月4日～25日)

(5) ふれあいコンサート

音楽活動を通じた障がい者・高齢者の社会参加や市民とのふれあいの促進を目的に、家族や友人とともに音楽を楽しんでいる障がい者・高齢者のグループや、音楽を通じたボランティア活動を行っているグループが出演するコンサートを行った。

[実施日] 4月20日 [出演団体数] 20団体 (20団体)

[来場者数] 353人 (447人)

(6) ファミリー日帰りキャンプ

障がい児とその家族がキャンプやレクリエーション活動を通じて、参加者同士の交流を深めリフレッシュできる場を提供した。

[実施日] 10月20日 [参加者数] 11家族35人 (25家族75人)

(7) 障がい者スポーツ教室

障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいを目的とした各種スポーツ教室を行った。

[実施種目] 水泳、卓球、親子運動あそび、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[参加者数] 845人 (830人)

(8) 障がい者スポーツ交流イベント

障がい者と健常者がスポーツを通じて相互理解を深めることを目的に、ともに楽しみ、交流する機会を提供した。

- ① 卓球大会 [実施日] 9月1日 [参加者数] 151人 (137人)
- ② ニュースポーツ体験会 [実施日] 10月6日 [参加者数] 854人 (593人)
- ③ しあわせNew Yearマラソン、ふれあいラン
[実施日] 1月13日
[参加者数] 計1,436人(マラソン1,279、ふれあいラン157) (1,692人)
- ④ パラ・スポーツ王国 HYOGO & KOBE 夢プロジェクト2019
[実施日] 11月3日 [参加者数] 3,884人 (2,576人)

(9) 東京パラリンピックに向けた支援活動

強化指定選手に対する練習場所の提供や各種競技団体の強化合宿の誘致のほか、神戸市が推進するホストタウン事業と連携した海外選手の合宿に対する練習会場の提供等の支援を行ったほか、市民の障がい者スポーツに対する理解を深めるための啓発活動を行った。

- ① 合宿に対する支援(ネパールパラ水泳選手団)
- ② 「アスリートに学ぶ!体験・パラスポーツ」
[実施日] 7月27日 しあわせの村まつりと同時開催

(10) ユニバーサル農園活動

ユニバーサル農園において、レクリエーションや機能回復等の一環として、村内の福祉施設の高齢者や障がい者及び保育園児童に、野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供した。

[参加団体数] 8団体 (10団体) [参加者数] 755人 (997人)

2 高齢者の自立や社会参加を促進するための事業

(1) 神戸市シルバーカレッジの運営

- ① 高齢者の豊かな経験を活かして自らの可能性を拓き、その成果を社会へ還元することを旨として、高齢者に学習及び実践活動の場を提供することを目的に、健康福祉、国際交流・協力、生活環境、総合芸術等の4つのコースを設け、地域でのボランティア活動も交えたカリキュラムを実施するとともに、学生ボランティアグループや卒業生が行う社会貢献活動に対する支援・協力を行った。

[年度末在籍学生数] 890人 (1,015人)

- ・健康福祉コース 145人 (181人)
- ・国際交流・協力コース 193人 (229人)
- ・生活環境コース 164人 (183人)
- ・総合芸術コース 388人 (422人)

[元年度入学者数] 386人(うち、再入学者数 96人) (401人・うち再入学86人)

(2) 健康いきいき教室

心身機能の維持・向上と交流する機会の提供を目的に、軽運動やレクリエーションを中心とした教室を開催した。

[実施回数] 109回 (117回) [参加者数] 延1,768人 (延1,836人)

(3) 高齢者スポーツ教室

高齢者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的とした各種スポーツ教室を行った。

[実施種目] 水泳、卓球、バドミントン、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[参加者数] 1,284人 (1,303人)

3 児童の健全な育成を図る事業

(1) わいわいストリート

神戸市シルバーカレッジ卒業生を中心とするNPO法人「社会還元センターグループわ」との協働により、親子で楽しく遊べる昔あそびを行い、世代間の交流の場を提供した。

[実施日] 5月5日 [来場者数] 1,380人 (1,575人)

(2) おはなしの会

幼児が絵本や紙芝居に触れ、豊かな感性と創造性を育む機会を提供するとともに、ボランティアへの活動機会提供による担い手の育成を目的に、読み聞かせの会を開催した。

[実施回数] 99回 (111回) [来場者数] 2,090人 (2,478人)

(3) 夏休み工作塾

創意工夫しながら工作することを通じた親子の絆づくりと、NPO法人「社会還元センターグループわ」の指導を通じた世代間交流の場を提供した。

[実施日] 8月3日 [来場者数] 390人 (781人)

4 市民福祉の拠点施設としての施設を維持するとともに活性化を図る事業

(1) 総合的な施設の管理運営

① 誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、施設の保守・修繕や警備、無料巡回バスの運行等の村内施設の総合的な維持管理を行った。

② 令和元年度は新たに、にこにこハウス医療福祉センターとの共催で、村内外の医療・福祉施設の職員を対象とした災害対策研修を実施した。

研修では、「北海道胆振東部地震」で被災した医療機関の医師や、危機管理の専門家を講師に招き、大規模災害時に医療・福祉現場に求められる対応や、村内施設相互の連携のあり方についての講演会やワークショップを行った。

[実施日] 11月2日 [参加者数] 講演会129人、ワークショップ75人

③ 一年中花に囲まれ、市民の憩いとリフレッシュの場として人気が高い緑地について、引き続き快適な空間として良好に維持管理を行った。

④ 市民の理解をより一層深めていくための情報発信や運営改善のためのアンケート調査を行った。

- ・ホームページやメールマガジン、フェイスブック等のさまざまな広報手段の活用による情報発信
 - ・入村者アンケート調査 [実施回数] 年1回・2日間 (年1回・2日間)
[有効回答数] 1,769件 (1,278件)
 - ・登録モニター「村っ子モニター隊」に対するモニタリング調査
[調査実施回数] 2回 (3回) [年度末登録者数] 147人 (139人)
- ⑤ 障がい者団体への村内管理業務等の委託を通して、障がい者の就労の場の確保を図るとともに、自立や社会参加のための活動を支援した。
- ア. 空き缶回収・ゴミの分別回収業務
 - イ. 温泉健康センター直売所(しあわせマルシェ)の清掃業務
 - ウ. 保養センターひよどり周辺の園地管理
 - エ. 自動販売機の管理
- ⑥ 子育て世代のしあわせの村の利用を支援することを目的とした乳幼児や児童の託児サービスを、イベント・講座の開催にあわせ実施した。
- [実施回数] 23回 (8回) [利用者数] 延29人 (延31人)

(2) 多くの市民が集い、楽しみ、憩い、交流を深めるための事業

① こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉意識を啓発し、ボランティア活動の情報提供や健康に関する正しい知識の普及・啓発を図ること目的に、福祉施設・障がい者団体によるバザーや模擬店のほか、福祉用具展、各種検診等を行った。

[実施日] 10月6日 [来場者数] 18,000人 (17,000人)

② しあわせの村まつり

村内施設や関係団体、近隣地域の参加・協力により、広く市民が交流することを目的に、模擬店、ステージイベント等を行った。

[実施日] 7月27日 (台風のため中止) [来場者数] 26,000人

③ こうべロハスひろば(リサイクルバザー)

市民出店者による不用品等のリサイクルバザーを開催するとともに、食品ロスや地産地消等の環境問題を啓発するブースを設け、資源の有効活用を通じた市民相互の支え合いと環境意識の高揚を図った。

[実施回数] 年4回(新型コロナの影響で2回中止) (年6回)

[来場者数] 55,000人 (75,000人)

④ マンスリーミニコンサート

しあわせの村を訪れる幅広い世代の方々に季節を感じ癒しのひと時を過ごしていただくことを目的に、神戸市混声合唱団によるコンサートを開催した。

令和元年4月には、開村30周年を記念し、公募による市民合唱団が共に歌う記念コンサートとして開催した。

[実施回数] 毎月1回(3月は新型コロナの影響で中止)

[来場者数] 3,584人 (2,996人) [市民合唱団参加者数(新規)] 82人

⑤ ウォークラリー with Dog(新規)

犬の散歩に多くの市民がしあわせの村を訪れることから、ペットとともに村を楽しみながら、しつけについて学ぶことができる啓発イベントを開催した。

[実施日] 5月12日 [参加者数] 52家族 64頭

⑥ 村の魅力ある自然環境を楽しむ催しの開催

ア. 夜桜ライトアップ

日本庭園を夜間開放し、ソメイヨシノやシダレザクラのライトアップを実施した。

[実施日数] 17日 (6日) [来場者数] 6,632人 (3,190人)

イ. 紅葉の滝ライトアップ

日本庭園を夜間開放し、紅葉と滝のライトアップを実施した。

[実施日数] 17日 (18日) [来場者数] 3,486人 (3,237人)

ウ. 緑のオリエンテーリング

村の豊かな自然環境を体感しながら、クイズラリーなどを楽しむオリエンテーリングを実施した。

[実施日] 10月27日

[参加者数] クイズラリー 240人 (110人)、藍染体験(新規) 63人

エ. 植物散策会

村内のさまざまな植物を観察する散策会を開催した。

[実施日] 6月16日 [参加者数] 28人 (14人)

⑦ 各種イベントの実施・協賛及び協力

ア. K O B Eトラック&フィールドスクール

[実施回数] 教室5回 (4回) クロスカントリー大会1回 (1回)

[参加者数] 教室 延394人 (延367人) クロスカントリー大会 453人 (648人)

イ. 神戸カップグラウンドゴルフ交歓大会

[実施日] 4月20・21日 [参加者数] 386人 (383人)

ウ. こどもフェスタ

[実施日] 5月11日 [参加者数] 500人 (500人)

エ. オール関西エンジョイテニス大会(新規)

[実施日] 5月28・29日 [参加者数] 168人

オ. 神戸市乳児院連盟合同運動会

[実施日] 9月18日 [参加者数] 70人 (70人)

カ. 関西対校女子駅伝競走大会

[実施日] 9月21日 [参加大学数] 17校 (22校)

キ. 動物愛護フェスティバル(新規)

[実施日] 10月22日 [参加者数] 3,000人

ク. バディーウォーク関西 in H Y O G O(新規)

[実施日] 11月10日 [参加者数] 2,000人

ケ. K o b eっこ親善ラグビー大会

[実施日] 11月15日 [参加者数] 1,500人 (1,550人)

コ. しあわせ里山体験キャンプ

[実施日] 11月23・24日 [参加者数] 8組32人 (18人)

サ. J N F A ノルディックフィットネスフォーラム2019 inしあわせの村(新規)

[実施日] 11月30日・12月1日 [参加者数] 延259人

シ. “しあわせの村” から “しあわせ運べるように” 福島から熊本へ届け希望の歌(新規)

[実施日] 12月14日 [参加者数] 63人

ス. あじさいロードレース

[実施日] 1月25日 [参加者数] 2,090人 (2,234人)

(3) しあわせの村ボランティア

① しあわせの村の事業に大学生から高齢者までボランティアの参画を広く求め、活動の場の提供と支援を行った。

ア. 協会事業の運営補助

イ. 障がい児・障がい者向けスポーツ教室の補助

ウ. おはなしの会(再掲)

エ. 花壇のデザインや植え付け・手入れ等

オ. 自主企画イベントの実施

▶ 読み聞かせ [実施回数] 3回(3回) [参加者数] 49人(78人)

▶ 運動遊び [実施回数] 3回(1回) [参加者数] 49人(23人)

▶ その他 [実施回数] 5回(新型コロナの影響で1回中止)(8回)

[参加者数] 1,239人(2,227人)

[登録者数/活動者数]

ア. 障がい児・障がい者向け各種スポーツ教室指導補助ボランティア

63人/延2,288人(63人/延1,900人)

イ. 社会人ボランティア 54人/延619人(64人/延1,001人)

ウ. ユース(大学生)ボランティア 91人/延1,402人(54人/延1,117人)

エ. 花緑ボランティア 19人/延897人(19人/延800人)

オ. おはなしの会 11グループ94人/延284人(11グループ94人/延346人)

計 321人/延5,490人(計294人/延5,164人)

② ボランティア活動への動機付けやスキルアップのための研修会等を開催した。

[実施回数] 1回(新型コロナの影響で2回中止)(4回)

(4) ユニバーサルデザインに配慮した施設整備

高齢者や障がい者の利用割合が高い施設の特性を考慮しながら、協会において策定した「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を活かしながら誰にでもやさしい「村」づくりを進めた。

令和元年度は、トイレのUD改修工事を引き続き実施したほか、白杖を使用する視覚障がい者の誘導のため、温泉健康センターに試行的に設置していた「白杖利用者向け音声案内システム」を、本館・宿泊館1階に本設置した。また、車両系の案内サインについて、新たに4か所に設置した。

[トイレ改修工事实施施設]

本館・宿泊館1階、たんぼぼの家、野外活動センターあおぞら、テニスコート、球技場、

ローンボウルス場、馬事公苑、P 4 駐車場

(30年度実施施設：本館・宿泊館2階、芝生広場西・北、キャンプ場(オート・テント))

[案内サイン設置場所]

テニスコート前三叉路、リハビリテーション病院前三叉路、

野外活動センター前三叉路、あいな里山公園前交差点

(30年度はW i - F i 環境整備を実施：本館、たんぽぽ、ひよどり、あおぞら、

研修館、温泉健康センター、神戸市シルバーカレッジ)

B 平磯児童館の運営

児童に健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、または情操を豊かにする活動を通じて地域における市民福祉の向上に寄与することを目的に、指定管理者として運営を行った。

① 児童健全育成事業

自由来館児童への遊びの提供・指導、季節行事、在宅福祉センターや地域福祉センターの高齢者との交流会等を実施した。

② 子育て支援事業

- ・「幼児の会」(毎週1回)

2～5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施した。

- ・「ミニミニっ子」(毎月1回)

0～2歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施した。

- ・「すくすくひろば」(毎月1回)

地域団体が実施する0～5歳児の親子同士の交流を図るための季節行事等のプログラムを支援した。

[来館者数] 7,432人 (8,888人)

III 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業[公3] 304百万円

指定市町村事務受託法人として、市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行う「要介護認定調査業務」を市からの受託により実施した。

[調査件数] 32,522件 (33,046件)

【収益事業等】

指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設等の運営

400百万円

1 しあわせの村

(1) 便益施設の運営

① 有料駐車場の管理運営

夜間の駐車料金無料サービスについて、土・日・祝日も従来の19時以降から18時以降の入村に対象を拡大するとともに、神戸市が実施する子育て世帯支援施策の一環として、18歳未満の子どもを含むグループの普通車駐車料金の無料化を引き続き実施した。

[有料]利用台数] 215,408台 (247,879台)

[子育て支援無料化台数] 119,450台 (71,333台・7/1~3/31)

② 飲料等自動販売機及び公衆電話の設置運営

③ 野菜・鮮魚等直売所(しあわせマルシェ)の運営

[利用者数] 209,605人 (209,914人)

④ 貸館(シルバーカレッジ内ホール等、日本庭園内茶室)

[利用者数] カレッジ内ホール等 2,905人 (626人)、茶室 824人 (614人)

⑤ 屋外アドベンチャー遊具の設置(新規)

民間事業者と連携し、しあわせの村の自然環境を活用した屋外遊具や屋内プレイルームを有する施設を新たに開設した。

[運営事業者] 株式会社冒険の森

[開設場所] 芝生広場北側

[開設日] 令和元年11月30日

[利用者数] 7,895人

2 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺

市民の健康の保持・増進を図るために建設した同施設について、公募により選定した民間事業者による運営を行った。

[運営事業者] 株式会社なでしこの湯

[利用者数] (宿泊) 8,429人 (9,020人) (温泉) 241,599人 (236,655人)

3 福祉用具リサイクル事業(令和2年3月末をもって事業終息)

身体障がい者や高齢者の在宅生活を支援するため、福祉用具のリサイクル事業を行った。

[運営事業者] 株式会社ポート・リハビリサービス

[リサイクル成立件数(申込件数)] 1件(3件) (3件(13件))

4 サン舞子マンション

平成23年度に社会福祉法人へ事業を承継したが、引き継いだ入居者の入居預り金の管理を引き続き行った。

[事業承継法人] 社会福祉法人神港園